

IoT が切り拓く未来：2つのストーリー

IoT opens the way to the future

鈴木 誠†

Makoto SUZUKI†

† 東京大学先端科学技術研究センター

概要

IoT の登場は、2つのストーリーで語られる。1つ目は、「スマートフォンの登場に端を発した」というストーリーである。スマートサーモスタット、スマートロック、防犯システムなど、多様なサービスの登場は、このストーリーの延長線にある。これらのサービスは、単にインターネットに接続されるだけでなく、モノを通して得られる体験を再定義してユーザに示すことにより、大きく花開きつつある。2つ目は、「社会保障やエネルギー問題といった社会的要請によって登場した」というストーリーである。農業、建築・土木、物流、エネルギーなどにおいて、このストーリーに基づき多くの取り組みが行われている。しかしながら、多様な産業を ICT によって抜本的に変革するという到達点と比較すると、ICT が浸透するプロセスの初期状態にすぎない。本講演では、前者をエクスペリエンス指向 IoT、後者を社会基盤指向 IoT と呼び、両者を比較するとともに、社会基盤指向 IoT に向けたフィールド指向アプローチについて示す。

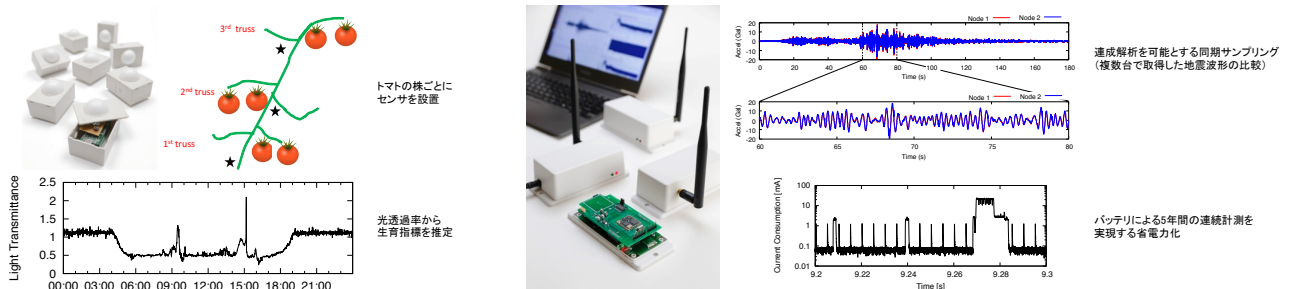


図 フィールド指向アプローチによる農場モニタリングと橋梁モニタリング。農場モニタリング（左）では小型照度センサによって、高密度にトマトの生育指標を取得することを、橋梁モニタリング（右）では高品質データを低コストかつ膨大に取得することを目的としている。

Abstract

This talk discusses and compares two stories of the emergence of IoT trend. The first is that the emergence of smartphones urged the IoT trend. The second is that social demands made the IoT trend. We call the former Experience Oriented IoT, and the latter Society Infrastructure Oriented IoT. In this talk, we discuss two IoTs, and provide Field-First Approach for Society Infrastructure IoT.